

# 令和8年度和歌山市立鳴滝小学校スクールプラン

校長 広田 真紀

作成日 令和8年5月 8日

## 和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

## 保護者・地域の願い

- ・児童数は少ないが、少人数だからこそ体験できた行事や活動があり、大切にしたい
- ・基本的な生活習慣の習得を大切にしつつ、児童がより楽しめる学校になることを切に願う
- ・地域の高齢化が進み大変だと思いが子供たちのために地域と共に活動できればと思う
- ・今まで同様、一人一人を大切に、児童に寄り添った指導を続けていただければと思う

## 【学 校 教 育 目 標】

最後まであきらめずによく考え、  
感謝の気持ちを忘れず、心身共に健やかな子供の育成  
～知育・徳育・体育のバランスを大切に生きたる力を培うことを目指して～

## 【めざす児童像】

- 1、何事もあきらめず、最後まで自分で考える子供
- 2、相手の気持ちを考え、常に感謝の気持ちをもつ子供
- 3、意欲的に活動し、心も体も健康な子供

## 前年度の学校評価

- ・デジタル化の中にあっても、引き続き本を読むことや文章を書くことを大切にしたい
- ・様々な学校の取組を知り、見ることができ、良い体験となった
- ・地域住民等との交流や体験活動を通じて、信頼関係ができています

## 児童の実態

- ・学校が楽しいと感じる児童が多い
- ・元気よく学習や活動ができるが、語彙力が乏しく深く考えられないこともある
- ・自分の思いや気持ちを言葉に表すのが苦手な児童が多く、今後の課題である
- ・読書を通じて読解力や語彙力の向上を目指す
- ・「書くこと」に苦手意識があり向上を目指す

## 重点目標

### 確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな学力
- ◎児童主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

## 具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底を図る
- 「わたくしの作文」に学校全体で取り組み、作文指導を行う
- ◎「昼学」の時間をしっかり活用し、基礎学力の定着を図る
- まず個人思考で自分の考えをもち、その後、友達との対話や発表を通して語彙力を増やす授業づくりをする
- 必ず「なるたきタイム」の時間を確保し、読書を習慣づける
- 家庭学習にも「読書」を組み込む

## 指標

- ・全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査で正当数の県平均値を上回る
- ・児童がわかる授業、児童主体の授業を実践する(教員90%以上)

### 豊かな心の育成

- ◎人権教育を推進すると共に、人権意識の高揚に努める
- ◎道徳教育を柱とした教育活動の充実

- 保護者と児童のよさを共有しながら児童を心豊かに育てる
- 「特別の教科 道徳」で児童が考え話し合う活動を大切に、自他を認められるように育む
- いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険についての指導を促進する
- 各行事において児童が主体的に活動できるよう工夫する

- ・学校が「楽しい」と感じる(児童90%以上)
- ・「ルールやマナーを守って授業を受けることができた」(児童80%以上)

### 健やかな体の育成

- ◎基本的な生活習慣の確立
- ◎体力向上の推進
- 危機回避能力の育成
- 人間の体を知る

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨
- 体育科の中で活動時間を多く取り入れられるように工夫する
- 縦割りグループでの運動を計画的に実施する
- 外遊びを推奨する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育てる
- 「保健」の教科学習や保健行事を行うなかで、自分の体について知る

- ・毎日、朝ごはんを食べてくる(児童90%以上)
- ・体力テストの平均値は県平均値以上を目指す

### 地域を通して社会性を育てる学校

- ◎地域との交流を様々なところで行う
- 「学校だより」やホームページでの情報発信を継続
- 地域の養護施設を知る

- 避難訓練や減災教育を通して、自他の命を守るための行動がとれるように意識を高める
- 地域の方々と一緒に花や野菜を育てる活動を通して交流を図る
- 地域との交流を推進する
- 地域の養護施設を見学し、実態の把握に努める
- 「学校だより」を地域回覧すると共に児童の活動の様子をホームページで発信する

- ・保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている」(保護者90%以上)
- ・地域への情報発信が行えた(保護者90%以上・地域の方等の声)

◎：特に重点的に取り組むこと